

# 札幌市教員育成指標【教員編】

(平成30年1月17日策定)  
(令和8年3月1日一部改定)

求める教員像	ステージ		【養成段階】	ステージ1 【基礎形成期】	ステージ2 【向上・充実期】	ステージ3 【深化・牽引期】
	観点		札幌市が求める教員 人生スタート時の姿	学級経営、教科指導、生徒指導等に関する基礎的・基本的な指導力を身に付け、教職としての基礎を固める。	専門性を高め、学級経営、教科指導、生徒指導等に関する実践的指導力の向上を図り、リーダーとしての資質を磨く。	豊富な経験を生かして、全校的な視野に立ち、学校づくりの中心的な役割を果たし組織的な運営力を高める。
			【学級・担当教科等】	【学年・校務分掌等】	【学校全体】	
深い教育的愛情を、常にもち続けている教員	札幌市学校教育の基盤	使命感・責任感・倫理観	●教育者として、崇高な使命を深く自覚し、強い責任感や法令遵守の精神、高い倫理観をもっている。			
		情熱・教育的愛情	●札幌を理解し、愛着をもつとともに、教職への誇りと情熱、子どもへの深い教育的愛情をもっている。			
		人間性・コミュニケーション	●豊かな人間性や広い視野、人権尊重の意識をもち、コミュニケーションを図りながら、同僚性を高め、他者との信頼関係を構築している。			
		学び続けようとする意欲	●常に自己研鑽に努め、向上心をもって主体的に学び続けている。			
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に主体的に取り組む教員	学習指導	授業構築	教科の専門性や学習指導要領等を理解し、目標を明確にした授業づくりをしようとしている。	子どもの興味・関心を生かしながら、ねらいを明確にした、「分かる・できる・楽しい授業」を構築している。	学校の特色を生かし、子どもの実態や教科のねらいに応じた多様な授業を構築している。	園・学校だけではなく、地域全体で「子どもの声を聴くこと」を大切にしながら、組織的に「人間尊重の教育」の理念に基づいた取組を推進している。
		指導技術	板書や発問等の基本的な指導技術を理解し、実践しようとしている。	効果的な板書や発問、ICTの活用等の指導技術を、多くの実践を通して学び、身に付けている。	ねらいに応じた教材の開発や指導方法の効果的な活用の工夫をするなど、確かな指導技術を身に付けている。	豊富な経験から身に付けた確かな指導技術等を生かし授業実践をするとともに、同僚に適切な対応をしている。
		授業評価・改善	授業改善の意義や授業を見直す手だてを理解し、実践しようとしている。	自分の実践を適切に見直し、その成果と課題を明確にした上で、次の実践に活かしている。	授業改善の意識を常にもち続け、より効果的な手だてを考え、次の実践に活かしている。	子どもの育ちの状況から授業を見つめ直し、自らの授業改善を図るとともに、同僚に適切な対応をしている。
	生徒指導	子ども理解	子ども理解の大切さを認識し、子どもと積極的に向き合おうとしている。	基礎的な知識を身に付け、子ども一人一人の状況や背景を理解し、適切に向き合っている。	子どもを取り巻く状況を、広い視野から捉え、深く理解し、寄り添った対応をしている。	専門性を生かし、効果的な手だてを講じて、迅速で組織的な対応をしている。
		人間関係づくり	子ども一人一人の話にしっかり耳を傾けるとともに、進んで関わろうとしている。	情熱をもって学級経営を行うとともに、子どもの声に耳を傾けながら、きめ細かく対応している。	よさや持ち味を生かしながら、ビジョンをもって学年・学級等の運営に当たり、どの子にも適切に対応している。	学校全体に肯定的受容的な関係づくりを広げ、チームとしての機能を高め、適切に対応している。
		組織的な対応	生徒指導の組織的対応の重要性を理解し、実践しようとしている。	家庭との連携を日常的に進め、校内組織を活用し、教職員間で子どもの情報を共有するなど、状況に応じて適切に指導している。	家庭や地域をはじめ、関係機関と連携しながら、校内組織を活用し、状況に応じて適切に課題解決している。	家庭や地域、様々な関係機関と連携して組織体制を整え、迅速かつ適切に課題解決している。
	教育課題への対応	特別支援教育に関する専門性	子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について学ぼうとしている。	子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性についての知識を更新し続けている。		
		特別支援教育に関する指導力	子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導について認識し、組織的な対応等の実践を学ぼうとしている。	教師間の連携を図りながら、適切に学習上・生活上の支援・指導の工夫をしている。	教師間の連携を密にしながら、子どもの教育的ニーズをきめ細やかに見取るとともに、必要な支援や適切な指導に努めている。	学校全体における組織的な対応の中心的役割を担い、全ての教職員が子どもの発達特性等を踏まえた支援・指導ができるよう適切な助言等を行っている。
		ICT活用指導力	情報モラル・情報セキュリティを正しく理解し、教材準備や学級事務等に、ICTを適切に活用しようとしている。	授業等におけるICTの効果的な活用場面を計画し実践するとともに、子どもに情報モラル・情報セキュリティを踏まえた活用を適切に指導している。	授業等におけるICTの効果的な活用方法の開発や、子どもの情報モラル・情報セキュリティを含め、情報活用能力の育成を系統的に進めている。	学校教育全体におけるICTの効果的な活用や情報活用能力の育成計画の立案等を中核となって推進するとともに、同僚に適切な対応をしている。
	とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	マネジメント	学校づくりへの参画	学級担任・校務等について理解し、実践しようとしている。	学校教育目標等を踏まえ、学級経営や教科経営の方針を立て実践している。	学年経営等の組織運営に進んで参画し、学校教育目標の実現に向けて工夫改善を行っている。
危機管理			危機管理の重要性を理解し、危機を察知して迅速な行動をとろうとしている。	安全・安心に配慮した環境について理解し整備するとともに、事故等の発生時には、速やかに報告等を行い対応している。	危機を予測し、未然防止に向けてリーダーシップを発揮するとともに、チームとして早期発見、早期対応を組織的に行っている。	学校安全に関わる未然防止、再発防止を組織的に推進するとともに、緊急時にはチームの中核として対応している。
関係機関等との連携			家庭や地域、関係機関との連携の大切さを理解し、教育活動に活かそうとしている。	関係機関の役割を理解し、家庭や地域、関係機関と連携・協働して日常の実践を進めている。	家庭や地域、関係機関と関わりを深め、適切に連携・協働して対応している。	家庭や地域、関係機関との円滑なネットワークを形成し、連携・協働して対応している。
教育課題への協働的な対応			教育課題に関心をもち、協働的に行動することの重要性について理解を深めようとしている。	教育課題を把握するとともに、同僚と協働して課題解決に当たるよさを理解し、ともに支え合い実践している。	教育課題の解決に向け、連携の在り方や有効な手だてなどを考え、同僚と協働し、ともに支え合い、効率的かつ適切に対応している。	教育課題の解決に向け、リーダーシップを発揮するとともに、全校的な視野に立ち、一人一人の役割を生かしながら、見通しをもって適切に対応している。